

令和元年度第1回伊勢崎地域保健医療対策協議会
地域医療構想部会

次 第

日 時 令和元年5月15日(水) 19:00~20:30
場 所 伊勢崎保健福祉事務所 2階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 伊勢崎佐波医師会病院における地域包括ケア病床への転換について

(2) 県内の医療事情に係る情報提供について

(3) その他

4 閉 会

地域保健医療対策協議会 地域医療構想部会出席者名簿

日時: 令和元年5月15日(水) 19:00~

【委員】

場所: 伊勢崎保健福祉事務所 2階大会議室

	職名	氏名	備考
1	伊勢崎佐波医師会長	大澤 誠	
2	伊勢崎佐波医師会副会長	羽鳥 則夫	
3	美原診療所院長	美原 樹	
4	伊勢崎市民病院長	小林 幹男	
5	美原記念病院長	美原 盤	
6	伊勢崎福島病院長	草場 輝雄	
7	伊勢崎佐波医師会病院長	澁澤 公行	
8	群馬県立精神医療センター院長	赤田 卓志朗	
9	鶴谷病院長	鶴谷 英樹	
10	原病院長	原 淳子	
11	石井病院長	新井 正明	
12	せせらぎ病院長	安村 幹央	
13	古作クリニック院長	古作 望	
14	伊勢崎市健康推進部長	大山 宝	
15	玉村町健康福祉課長	舛田 昌子	

令和元年度第1回伊勢崎地域保健医療対策協議会 地域医療構想部会 議事概要

◆日時：令和元年5月15日（水）

19時00分～20時30分

◆場所：伊勢崎保健福祉事務所

1 開 会 (19:00)

2 挨拶 (斎藤伊勢崎保健福祉事務所長)

3 議 事

(1) 伊勢崎佐波医師会病院の地域包括ケア病棟への転換について

(2) 県内の医療事情に係る情報提供について

○資料「公的医療機関等2025プラン」の変更及び地域包括ケア病棟への転換について、伊勢崎佐波医師会病院長から説明。

○「県内の医療事情等」について県医務課から情報提供。

○委員から国の動向について情報提供。

○意見、質疑の概要は次のとおり。

(委員) 病床数について、どのように調整して過剰にならないようにするのか。過剰となったら機能転換する必要性があるのか。

(委員) 国からは、公立・公的病院が民間病院との役割分担を踏まえ、公立・公的病院でなければ担えない分野へ重点化するよう言われている。しかし、同じ病気でも対応が異なるように、同じことをしているようでも中身は異なることがあり、地域包括ケア病棟の役割も種々ある。伊勢崎佐波医師会病院は医師会員診療所からの患者が多く、計画している地域包括ケア病棟の役割は民間病院の多くが担っている急性期病院からの受け皿（ポストアキュート）とは異なるだろう。病床数だけの議論ではなく、内容を考える必要がある。

(委員) 急性期病院では病床の回転率を上げるために、ポストアキュート患者の対応に苦慮しており、多くの受け皿を必要としている。

(委員) 伊勢崎佐波医師会病院は、かかりつけ医（医師会員）からの患者の受け皿を担っており、地域包括ケア病棟への転換は受け皿を充実させることに繋がると考える。

(委員) 今回の会議は公的病院の「公的医療機関等2025プラン」が大きく変更されるために臨時で開いたのか。民間病院が「2025年への対応方針」を変更する場合も事前に本会議の協議が必要なのか。

(事務局) 貴見のとおり、今回の会議は公的病院が方針転換することで地域へ及ぼす影響が大きいと考えて開催したものである。今年度の予定としては、秋頃に県内医療機関宛て2025年に向けた対応方針に変更がないか確認し、とりまとめた結果を本会議に提供する。なお、早く変更したい場合等には個別に相談してほしい。

(委員) 本部会は意見を出す場であり、決定する場ではないと思うが、役割についてどのように考えているのか。

(事務局) 部会は実質的な協議を行う場として設置していることから、部会での協議結

果は重要であると考えており、現場の声を尊重する仕組みにしていきたい。

(委員) 本地域全体としてどの程度の地域包括ケア病床が必要なのか。

(委員) 今回及び前回の会議において本地域の医療事情に関するデータが示されたが、高齢者の増加に伴い、今後、ポストアキュート患者やサブアキュート患者を受け入れる地域包括ケア病床はとても重要となるだろう。そのため、本地域には地域包括ケア病棟がもっとあってもよいという感覚である。

(委員) サブアキュートを脱した患者の多くは、介護施設等で介護を受けている。介護職員、看護職員ともに大変である。

(委員) 地域医療介護総合確保基金については建造物への補助だけでなく、運営費に活用できれば、地域医療等の向上が図れる。活用実績を見える化して公正かつ有効に活用できるよう検討が必要である。

(委員) 地域医療介護総合確保基金の活用実績を見える化して効果等を地域住民に知ってもらうべきである。また、活用方法等について本会議等で協議していく必要がある。

(議長) 部会としては、伊勢崎佐波医師会病院の病棟転換について合意ということでしょうか。

(委員) ー拍手ー (合意)

(3) その他

○伊勢崎佐波医師会病院の救急体制について、医師会長から状況説明。市民病院と連携して体制を確保する。

○在宅医療塾開催のお知らせ。

4 閉会 (20:30)